



飯島 忠 議員

質問

高齢者のごみ出し支援について

答弁

課題はあるが解決しながら、随時支援していきたい

飯島議員の質問動画



議員

高齢化社会や核家族化の進展に伴い高齢者のみの世帯が増加することによって、家庭からの日々のごみ出しに課題を抱える事例も生じている。そのような中、既に一部の地方公共団体においては高齢者のごみ出し支援が開始されている。常総市において支援が必要な高齢者等の世帯数について問う。

福祉部長

ごみ出し支援が必要と感じている高齢者の世帯数の把握については、3年毎に調査しており、平成29年度は6.5%、令和元年度は8.4%の方がごみ出しの支援が必要だと回答している。この結果からごみ出し支援ニーズが年々高まってきている状況にあると考えられる。

議員

環境省の調査では、2040年には全国で10%の方々が支援が必要となる。また、現在全国23・5%の自治体にて支援活動を実施中との調査結果がある。他市町村の支援の内容について問う。

福祉部長

自治体の直接支援型によるごみ



出し支援は、つくばみらい市、取手市、牛久市などが一定の利用条件のもとで実施していて、コミュニティ支援には、新潟市、千葉市などの事例があり、支援団体に対し補助金を交付している。しかし、自治会等の協力が得られず対応出来ないという課題もある。

議員

いろいろな支援方法、また、いくつか支援に対しての問題があることがわかった。常総市の支援についてどのように考えているか問う。

福祉部長

将来的には市による直接支援型の施策の検討だけでなく、地域資源を活用した助け合いができる環境づくりを、生活支援コーディネーターを中心に地域住民と創出する等、多方面からの複合的な支援策を講じる必要があると考えている。

議員

早急に支援できる体制を作っていただきたい。

福祉部長

公共施設の維持管理については以前に質問をして、当時の答弁はいただいているが、コロナ禍でどのような進捗になっているか問う。

議員



風野 芳之 議員

質問

老朽化した公共施設の適切な管理を

答弁

公共施設の総量を削減しながら、短期的・中長期的に更新修繕に努める

風野議員の質問動画



各部長で方向性を検討していく。

議員

現在老朽化した施設をそのまま使用している施設、例えば公民館等を手入れしないで使用しているのは、住民サービスの低下に繋がると考えるが、市の考えを問う。

資産活用課長

公共施設の適正な維持管理に努めなければならない。適正配置も含め施設の総量の削減をしながら、内容やサービスの充実に取り組み、戦略会議の中で短期的、中長期的に施設の更新修繕などに努める。

議員

目的をもって財産の処分、あるいは施設の改修をやることは、住民サービスの第一だと思う。ぜひ進めていただきたい。

【その他の質問】

★アグリサイエンスバレー事業及び常総IC周辺開発について

議員

資産活用課がすべて管理していく方向性なのかを問う。

資産活用課長

管理は各施設の所管課が行い、資産活用課がその後の利活用方針等を検討していく部署である。また、資産活用課所管の公共施設等運用戦略会議で、市長を含む三役、